

なりわい再建支援補助金の活用事例 アスカ商事 株式会社（石川県七尾市）

＜補助金活用のポイント＞被災した古い設備を入れ替え、生産性の向上を実現



地震で設備が転倒



入替後



製品（紙箱）



河嶋代表、河野課長

会社概要

- 住所 石川県七尾市古府町ほ38-1
- 連絡先 0767-53-3636
- 代表 河嶋 隆二
- 事業内容 紙箱の製造・販売
- 自社のPRポイント

輪島塗の箸の箱や金沢の老舗和菓子店の箱など、伝統工芸や菓子文化の栄える能登の地で贈答品用の紙箱を50年に渡って作り続けてきました。

被災時及び復旧後の状況

- 紙箱を製造する設備が転倒、制御盤の電機部品が破損し、電源が入らなくなりました。
- 損傷が軽微だった他の設備を中心に稼働し、1月上旬には営業再開しました。
- 被災した設備は大型の古い機械でした。新しい機械は受注生産でしたが、小型化し最短納期で入替を行い7月にはフル稼働することができました。

なりわい再建支援補助金を活用した経緯

- 石川県庁主催のなりわい補助金の説明会を聴講し、活用を検討しました。補助金を使うのは初めてで不安でしたが、金沢事業者センターで丁寧にサポートいただいたおかげで、3月には申請し、5月には交付決定を受けることができました。
- 申請書は自分で作成しなければならない書類が思いのほか少なかったため、作成にあたって特にコンサル等は頼りませんでした。

事業者からのメッセージ

- 以前の機械ではできなかった薄紙の加工もできるようになり、生産性が向上しました。また、新しい設備を導入するまでは同じ性能の機械を持つ金沢の協力会社に加工をお願いしており、製品の原価率が大幅に上がってしまい利益が確保できない状況だったため、とても助かりました。
- 早期にご支援いただき感謝しています。今後も作り手の思いがこもった大切な商品を守り続けます。